

特集 支え合いのまちづくり フォーラム

160名
が参加

「通い合ったが吉日」 開催しました！

第7回目となる「支え合いのまちづくりフォーラム」を3月26日（日）ライフパーク倉敷で開催しました。「社会参加と居場所づくり」をメインテーマにした今回のフォーラムでは倉敷市で元気に活動している「通いの場」や日ごろからの「つながり」の大切さを基調講演や実践発表から共有することができました。

第1部基調講演

「地域は可能性にあふれている」～〇〇しているのは誰？～
講師：松戸市福祉長寿部 参事監 中 沢 豊 氏

松戸市では、行政と連携している通いの場（元気応援くらぶ）を中心に健康と暮らしに関するデータを収集し、社会参加と要介護リスクの関係性を明らかにしていくために、千葉大学センターと連携して、住民ヘデータに基づく見える化を推進しています。これを都市型介護予防「松戸プロジェクト」と呼び、通いの場の増加により社会参加者が増加することで要介護リスクが低下するという、大変興味深く「通いの場」の素晴らしさを改めて感じたお話でした。

また、地域内の小さな移動・外出支援「グリーンスローモビリティ」を活用し、社会参加の促進が介護予防につながる取り組みについて、動画も交えて報告があり、大変わかりやすく、自分ごととして考える機会にもなりました。



第2部通いの場実践発表

「通い合ったが吉日」アドバイザー 厚生労働省 新型コロナウイルス対策推進本部 企画官
元倉敷市 保健福祉局 参与 吉田 昌司氏

発表者：①マンションで取り組む出会いとつながりづくり
「エグゼ友の会」 代表 石井 操 氏

②地域みんなで外出と社会参加を応援
「ぐるっとごうない」
郷内地区社会福祉協議会 副会長 山田 敦子 氏
社会福祉法人浩志会 特別養護老人ホーム碧山荘
統括主任 豊田 智 氏

③社会福祉法人が地域と取り組む居場所づくり
「みんなのれいぞうこOOTAKA」 社会福祉法人四ツ葉会
障がい福祉サービス事業所オーダーメイド施設長
吉田 秀樹 氏

参加者のこえ

- ・社会参加やつながりを続ける人がどんなふうになるのか数値で説明されて新しい勉強になった。
- ・地域で居場所づくりに頑張っている人たちに感動した。自分たちのサロンも頑張って続けていきたい。



エグゼ友の会

通いの場ギャラリー



「ぐるっとごうない」



みんなのれいぞうこ

サロン交流会～サロンのひ～

今年度市内6地区でサロン交流会を「さろんのひ」と名づけて開催しました。ギャラリー形式やグループワーク、通いの場以外の団体と連携したコラボ開催等地区ごとに特色にあふれた交流会となりました。

倉敷会場

ボランティア大会と共催で開催をした倉敷会場。サロンだけでなく様々なボランティア活動や支え合い活動にもふれていただく機会となりました。



水島会場

水島会場は、水島地区地域ケア会議と一緒に企画・実施しました。様々な専門職や地域活動団体と交流会を盛り上げました。



児島会場

実践発表を交えた児島会場。保健師さんとの連携やドローンを活用した居場所づくりの報告などたくさんの関心を集めました。



玉島・船穂・真備会場

ギャラリースタイルのいいところは、自由な時間で気軽に参加できる点。たくさんの人たちが会場でたくさんの情報を得て交流を楽しみました。



通いの場ガイドブック第三版

『通い合ったが吉日』完成しました。

住み慣れた地域で安心して暮らせる社会に！
 「一人ひとりの居場所づくり」が元気な地域のキーワード
 「人とのつながりがつくこと（社会参加）」
 「自分の役割や生きがいが地域にあること（介護予防）」
 「お互い様の関係で支え合うこと（生活支援）」
 本ガイドブックの情報が「交流したい」「活躍したい」「支え合いたい」と願うあなたの「かよいところ（通い所）」に手が届く！そんな一冊となれば幸いです。

生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）が事例集をお持ちし、直接ご紹介いたします！是非、下記までご連絡ください。

※こちらのQRコードからダウンロードも可能です→

